

一般社団法人 日本家政学会中部支部 平成 26 年度 総会 次 第

1. 開会の辞 (副支部長)
2. 挨拶 (支部長)
3. 議長選出
4. 議事

第 1 号議案	平成 25 年度事業報告承認に関する件	(庶務)
第 2 号議案	平成 25 年度決算報告承認に関する件	(会計)
第 3 号議案	平成 25 年度監査報告	(監事)
第 4 号議案	平成 26 年度事業計画 (案) 承認に関する件	(庶務)
第 5 号議案	平成 26 年度予算 (案) 承認に関する	(会計)
第 6 号議案	その他	
5. 平成 25 年度 (一社) 日本家政学会中部支部奨励賞審査結果報告
(審査委員長)
6. (一社) 日本家政学会中部支部奨励賞表彰 (支部長)
7. 第 60 回 (平成 27 年度) 中部支部大会開催校に関する提案 (開催校)
8. 閉会の辞 (副支部長)

平成25年度 一般社団法人 日本家政学会中部支部 事業報告

1. 平成25年度総会 平成25年9月7日(土) 名古屋女子大学

2. 第58回大会

期日：平成25年9月7日(土)

会場：名古屋女子大学 汐路学舎 東館 〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40

内容：午前 一般公開講演1

『元気に老いる』

講師 名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科 教授 下方浩史氏

一般公開講演2

『高等教育における学習評価のあり方』

講師 名古屋女子大学家政学部長 白井靖敏氏 (会員)

午後—研究発表会(ポスター発表・口頭発表)

参加者：合計101名 (正会員57名、学生・非会員44名)

3. 研究活動

家政学関連院生・学生研究発表会

期日：平成26年2月22日(土) 13:10～15:40

会場：名古屋学芸大学

内容：研究発表9題

参加者：43名

4. 若手の会

(1)ミーティング

第1回 平成25年9月5日(木) 名古屋文理大学短期大学部 参加者4名

第2回 平成25年9月7日(土) 名古屋女子大学短期大学部 参加者5名

第3回 平成25年12月26日(土) 愛知学泉大学 豊田学舎 参加者4名

第4回 平成26年2月22日(土) 名古屋学芸大学 参加者4名

(2)勉強会

第1回 平成25年9月5日(木) 名古屋文理大学短期大学部 参加者18名

第2回 平成25年12月26日(水) 愛知学泉大学 豊田学舎 参加者4名

第3回 平成26年3月25日(火) 名古屋文理大学短期大学部 参加者14名

(3)一般公開講演会

期日：平成26年2月22日(土) 9:30～12:10

会場：名古屋学芸大学

内容：講演1

「超高齢社会における介護—社会構造の変化に伴う介護概念の変遷—」

講師 同朋大学社会福祉学部 准教授 下山 久之 氏

講演2

「超高齢社会における食—食環境と食行動から見た栄養的課題—」

講師 金城学院大学生生活環境学部 教授 丸山 智美 氏

参加者：合計37名 (正会員16名、学生・非会員21名)

5. 研究助成

- (1) 中部支部論文奨励賞
該当者なし
- (2) 中部支部大会発表奨励賞
小島千明氏（岐阜大学大学院）
口頭発表 「食鳥処理及び市販鶏肉の *Campylobacter jejuni/coli* 汚染実態と食中毒リスク」
- (3) 中部支部院生・学生発表奨励賞
駒場 新氏（名古屋学芸大学大学院）
テーマ：制限酵素断片長多型（ME-RFLP）による食品中の腸内細菌科の解析

6. 役員会

- | | | | |
|-----|---------|-------------|---------|
| 第1回 | 平成 25 年 | 7 月 27 日(土) | 名古屋女子大学 |
| 第2回 | 平成 25 年 | 9 月 7 日(土) | 名古屋女子大学 |
| 第3回 | 平成 26 年 | 2 月 22 日(土) | 名古屋学芸大学 |

7. 役員連絡会

- | | | | |
|-----|---------|-------------|---------|
| 第1回 | 平成 25 年 | 6 月 11 日(火) | 名古屋学芸大学 |
| 第2回 | 平成 26 年 | 2 月 7 日(金) | 名古屋学芸大学 |

平成25年度収支決算報告書

2014/3/31

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

科 目	部会・支部名 (中部支部)		差異 (予算-決算)	備考
	収支予算	収支決算		
(単位:円)				
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入	0	0	0	基金の利息を計上
②入会金収入	0	0	0	
③会費収入	0	0	0	
④事業収入	150,000	151,000	▲ 1,000	
大会等収入	150,000	151,000	▲ 1,000	支部大会参加費86,000、広告代65,000円
⑤補助金収入	0	0	0	
⑥寄付金収入	0	0	0	
⑦雑収入	0	75	▲ 75	38+37
⑧他会計からの繰入金収入	650,000	678,056	▲ 28,056	
本部交付金	650,000	678,056	▲ 28,056	本部交付金486,000、活動助成金94,548+22,960+74,548
事業活動収入計	800,000	829,131	▲ 29,131	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	810,000	754,051	55,949	
支部大会費	420,000	420,623	▲ 623	
公開講演会開催経費	100,000	164,548	▲ 64,548	講師謝礼44,548円、会場費120,000
研究発表会開催経費	240,000	172,075	67,925	通信運搬費:62,135円、消耗品費:8,390円、学生アルバイト代40,000円、雑費8,000円、封筒等印刷代53,550円
研究発表要旨集代	80,000	84,000	▲ 4,000	要旨集等印刷費84,000
院生・学生研究発表会費	200,000	111,746	88,254	
研究発表会開催経費	160,000	68,276	91,724	
研究発表要旨集代	40,000	43,470	▲ 3,470	
研究奨励費	30,000	30,000	0	論文奨励賞1万円×1名、発表奨励賞5千円×4名
若手の会活動費	70,000	114,453	▲ 44,453	
勉強会諸経費	20,000	69,905	▲ 49,905	
公開講演会開催経費	50,000	44,548	5,452	
広報費	90,000	77,229	12,771	ホームページ管理費
②管理費支出	146,000	79,795	66,205	
総会費	10,000	0	10,000	
会議費	15,000	11,672	3,328	役員会諸経費
旅費交通費	80,000	31,380	48,620	役員会交通費
通信運搬費	25,000	29,174	▲ 4,174	
消耗品費	10,000	7,569	2,431	
印刷費	6,000	0	6,000	役員会資料印刷費
③他会計への繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計	956,000	833,846	122,154	
事業活動収支差額	▲ 156,000	▲ 4,715	▲ 151,285	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	基金(定期貯金)取り崩した際に計上
2. 投資活動支出	0	0	0	基金(定期貯金)を積み立てた際に計上
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	▲ 156,000	▲ 4,715	▲ 151,285	
前期繰越収支差額	437,036	437,036	0	
次期繰越収支差額	281,036	432,321	▲ 151,285	

支部活動積立基金 期末残高	(単位:円)
定額郵便貯金	678,000

私ども監事は、中部支部の監査を行った結果、平成26年3月31日における平成25年度の収支決算及び現金・預金の期末残高が正しく示されているものと認めます。

平成26年 3月 31日 監事

東 珠 実

印

成 田 公 子

印

平成26年度 一般社団法人 日本家政学会中部支部 事業計画 (案)

1. 平成26年度総会 平成26年9月6日(土) 10:00~10:30 東海学園大学

2. 第59回大会

期日：平成26年9月6日(土)

会場：東海学園大学名古屋キャンパス 〒468-8514 名古屋市天白区中平二丁目901番地

内容：午前 一般公開講演会 10:30~12:10

<講演1>

『高齢者の介護予防と運動の役割』

講師 東海学園大学スポーツ健康科学部 教授 島岡 清 氏

<講演2>

『考えてみませんか 被服の負の効果』

講師 椋山女学園大学生生活科学部 教授 富田 明美 氏 (会員)

午後 研究発表会(ポスター発表・口頭発表) 13:30~16:00

3. 研究活動

家政学関連院生・学生研究発表会

期日：平成27年2月21日(土)

会場：金城学院大学

4. 若手の会

(1)ミーティング 4回

(2)勉強会 3回

(3)一般公開講演会

期日：平成27年2月21日(土)

会場：金城学院大学

内容：公開講演会

「震災を忘れないー災害への備え、家政学としての震災への取り組みー」

<講演1>

「災害への備えを考えるーNPO法人RSYの活動と生活に寄り添った支援ー」

(非会員講師) NPO法人レスキューストックヤード(RSY) 高木雅成氏

<講演2>

「『家政学』としての震災への取り組みー被災者支援と研究及び教育ー」

(会員講師) 中部大学応用生物学部・同大学大学院応用生物学研究科 教授 小川宣子氏

5. 研究助成

中部支部論文奨励賞 1件以内

中部支部大会発表奨励賞 2件以内

中部支部院生・学生発表奨励賞 2件以内

6. 役員会

第1回 平成26年7月27日(日) 東海学園大学

第2回 平成26年9月6日(土) 東海学園大学

第3回 平成27年2月21日(土) 金城学院大学

7. 役員連絡会

第1回 平成26年6月13日(金) 椋山女学園大学

第2回 平成27年2月上旬 椋山女学園大学

平成26年度収支予算案

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

科 目	部会・支部名 (中部支部)	(単位:円)
	収支予算	
I 事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
①基本財産運用収入	0	基金の利息を計上
②入金収入	0	
③会費収入	0	
④事業収入	150,000	
大会等収入	150,000	支部大会参加費1,500×80名、広告代30,000円
⑤補助金収入	100,000	会場校より補助
⑥寄付金収入	0	
⑦雑収入	0	普通預金の利息を計上
⑧他会計からの繰入金収入	650,000	
本部交付金	650,000	本部交付金 40万円+368名×250円,大会等助成100,000他
事業活動収入計	900,000	
2. 事業活動支出		
①事業費支出	754,000	
支部大会費	380,000	
公開講演会開催経費	60,000	講師謝礼44,548円
研究発表会開催経費	240,000	
研究発表要旨集代	80,000	要旨集等印刷費
院生・学生研究発表会費	200,000	
研究発表会開催経費	160,000	
研究発表要旨集代	40,000	
研究奨励費	30,000	論文奨励賞賞1万円×1名、発表奨励賞5千円×4名
若手の会活動費	70,000	
勉強会諸経費	20,000	
公開講演会開催経費	50,000	
広報費	74,000	ホームページ管理費
②管理費支出	146,000	
総会費	10,000	
会議費	15,000	役員会諸経費
旅費交通費	80,000	役員会交通費
通信運搬費	25,000	
消耗品費	10,000	
印刷費	6,000	役員会資料印刷費
③他会計への繰入支出	0	
事業活動支出計	900,000	
事業活動収支差額	0	
II 投資活動収支の部		
1. 投資活動収入		
	0	基金(定期貯金)取り崩した際に計上
2. 投資活動支出		
	0	基金(定期貯金)を積み立てた際に計上
投資活動収支差額	0	
III 財務活動収支の部		
1. 財務活動収入		
	0	
2. 財務活動支出		
	0	
財務活動収支差額	0	
IV 予備費支出		
当期収支差額	0	
前期繰越収支差額		
次期繰越収支差額		

平成 22 年 7 月 31 日制定

1. 中部支部奨励賞の授賞は、本内規により行なう。
2. 本支部は、本学会で活躍することが期待される若手研究者等の研究の奨励を目的として、中部支部奨励賞を授賞する。
3. 中部支部奨励賞は次の三賞とする。
 - 1) 中部支部論文奨励賞は、家政学における将来性を示す独創的な研究を奨励するための賞であり、原則として1年間に1名以内とする。
 - 2) 中部支部大会発表奨励賞は、家政学における将来性を示す優秀な研究発表を奨励するための賞であり、原則として1年間に2名以内とする。
 - 3) 中部支部院生・学生発表奨励賞は、家政学における将来性を有す優秀な院生・学生の研究発表を奨励するための賞であり、原則として1年間に2名以内とする。
4. 中部支部奨励賞の授賞資格は次のとおりとする。
 - 1) 年齢は、40歳程度までであること。
 - 2) 中部支部論文奨励賞、中部支部大会発表奨励賞の授賞者は、授賞のとき、(一社)日本家政学会中部支部会員であること。
 - 3) 中部支部院生・学生発表奨励賞の授賞者は、授賞のとき、中部地区の大学および大学院に在籍している学生であること。
5. 中部支部奨励賞の対象研究は次のとおりとする。
 - 1) 中部支部論文奨励賞は、当該年度の日本家政学会誌の4月号～3月号に掲載された論文等(報文、ノート、資料)とする。ただし、授賞者が筆頭者である場合に限る。
 - 2) 中部支部大会発表奨励賞は、当該年度の支部大会において口頭発表またはポスター発表された研究で、発表申込時に審査希望の手続きを行なっている研究とする。ただし、授賞者が登壇者または説明責任者である場合に限る。
 - 3) 中部支部院生・学生発表奨励賞は、当該年度の院生・学生発表会において口頭発表された研究とする。ただし、授賞者が登壇者である場合に限る。
6. 中部支部奨励賞の授賞候補者の選考は、中部支部奨励賞選考委員会(以下、選考委員会)が行なう。
 - 1) 選考委員会は委員長1名を含む3～5名の委員をもって構成する。ただし委員には支部幹事1名を含むものとする。
 - 2) 委員は、授賞候補者およびその共同研究者でないものとする。また、委員名は非公開とする。
 - 3) 委員は、役員幹事会が選定し、支部長が委嘱する。
 - 4) 委員長は委員の互選とする。
 - 5) 委員の任期は、委嘱の日から当該審査終了日までとする。ただし、再任は妨げない。
7. 選考の手順
 - 1) 中部支部論文奨励賞の選考にあたっては、上記論文を対象として、選考委員会で審査し、授賞候補者を選定する。なお、該当する授賞候補者のいない場合には、表彰は行なわない。
 - 2) 中部支部大会発表奨励賞および中部支部院生・学生発表奨励賞は、当該年度の各発表会において、選考委員が対象発表を視聴し、選考委員会にて授賞候補者を選定する。
 - 3) 選考委員会の委員長は、選定結果について文書をもって支部役員会に報告する。
 - 4) 支部役員会は選考委員会の報告に基づき、授賞者を決定する。
 - 5) 授賞者本人に対しては、支部長より書面をもって通知する。
8. 中部支部奨励賞授賞者の表彰は、総会において支部長が行なう。賞として表彰状を、副賞として賞金を贈呈する。なお、これらに要する費用は、当支部の経費をもって充てる。
9. 中部支部奨励賞の公表は、表彰後、一般社団法人日本家政学会中部支部のホームページ上にて行なう。
10. 本内規の改廃は、中部支部役員会の議を経て行い、本部理事会に報告する。

附則

- 1 本規定は平成 22 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 平成 23 年 9 月 17 日一部改正施行
- 3 平成 24 年 7 月 28 日一部改正施行